

「希望を抱いてエホバを待て」

「希望を抱いてエホバを待て。勇気を出し、心を強くせよ」。詩編 27:14 希望を抱いてエホバを待て。

勇気を出し、心を強くせよ。そうだ、希望を抱いてエホバを待て

128 番の歌 終わりまで耐え忍ぶ

何を学ぶか*大変な試練を忍耐した人といえば、忠実な人ヨブのことを思い浮かべるかもしれません。ヨブの経験からどんなことを学べるでしょうか。サタンが私たちに無理やりエホバを捨てさせることはできないということや、エホバが私たちの状況を全て理解してくださっているということです。また、エホバがヨブの試練を終わらせたのと同じように、私たちの苦しみ全てをいずれ終わらせてくださる、ということも学べます。こうしたことに対する確信を行動によって表すなら、「希望を抱いてエホバを待」っていることになります。

I. 「希望を抱いてエホバを待[つ]」とはどういうことですか。

1. (ア) エホバは私たちにどんな希望を与えてくださっていますか。(イ) 「希望を抱いてエホバを待[つ]」とはどういうことですか。（「語句の説明」を参照。）

(ア)エホバは、ご自分を愛する全ての人に素晴らしい希望を与えてくださっています。間もなくエホバは、病気や悲しみや死をなくします。（啓 21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」）希望を抱いてご自分を待つ「温厚な人」を用いて、地球をパラダイスに変えていきます。（詩 37:9-11 悪を行う人は取り除かれるが、希望を抱いてエホバを待つ人は地上に住み続ける(*地球が与えられる)。10 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない。11 しかし、温厚な人は地上に住み続け(*地球が与えられ)、豊かな平和をこの上なく喜ぶ）そして、私たち一人一人がご自分と温かい絆を持てるようになります。この絆は、私たちが今得ているものよりはるかに素晴らしいものです。何と貴重な希望なのでしょう。(イ)とはいえ、こうしたエホバの約束が実現すると信じられるのはどうしてでしょうか。エホバがこれまで約束を果たさなかったことは一度もありません。それで、私たちは「希望を抱いてエホバを待」つことができます。*語句の説明: 「希望する」と訳されるヘブライ語には、基本的に、大きな期待を抱いて何かを「待つ」という意味があります。誰かに頼る、もしくは誰かを信頼する、という考えも含まれています。（詩 25:2, 3 私の神、あなたに頼ります a. 私が恥をかかないようにしてください b. 敵が私を見てほくそ笑むことがないようにしてください。[ギメル] 3 希望を抱いてあなたを待つ人は決して恥をかきません d. しかし、あくまで不誠実な人は恥をかきます; 62:5 私は黙って神を待つ f. 私の希望は神から来るからだ）（詩 27:14 希望を抱いてエホバを待て。勇気を出し、心を強くせよ。そうだ、希望を抱いてエホバを待て）エホバの目的が実現するのを、喜びを保ちながら辛抱強く待つことができるのです。（イザ 55:10, 11 雨や雪は天から降り注ぎ、地を潤し、芽を出させて作物を生じさせ、種をまく人に種を与え、食べる

人にパンを与える。それまでは天に戻らない。同じように、11 私の口から出る言葉も、成果を収めずに私のもとに戻ることはない。必ず私の望むこと(*喜ぶこと)を成し遂げ、私が託した使命を確実に果たす)

2. エホバはどんな約束を守ってきましたか。

2 エホバはこれまでずっと約束を守ってきました。際立った例を1つ考えてみましょう。「啓示」の書には、エホバがこの時代にあらゆる国や民族や言語の人を清い崇拜のうちに結び合わせるという約束が書かれています。今、このグループは「大群衆」と呼ばれています。(啓 7:9, 10)その後、私が見ると、全ての国や民族や種族や言語の人々の中から来た、誰も数え切れない大群衆が、王座と子羊の前に立っていた。その人たちは白くて長い衣服を着て、ヤシの枝を持っていた。10 そして大声でこう叫び続ける。「私たちが救われたのは、王座に座っておられる私たちの神と、子羊のおかげです」) 大群衆は、人種や言語や生い立ちなどが異なる世界中の男性、女性、子供から成っているとはいえ、一致と平和を楽しんでいます。(詩 133:1 兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう。ヨハ 10:16 私にはほかの羊がいますが、この囲いのものではありません。私はその羊たちも連れてこなければならず、それらも私の声を聞きます。こうして、1つの群れ、1人の羊飼いとなります) そして、伝道も熱心に行っています。関心を示す人がいるなら、いつでも、より良い世界の希望について喜んで語ります。(マタ 28:19, 20) それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです。啓 14:6, 7 また私は、別の天使が空高く(d*中天を)飛んでいるのを見た。その天使は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国や民族や言語や種族の人々に伝える、永遠の良い知らせを携えていた。7 天使は大声でこう言った。「神を畏れ、神をたたえなさい。神による裁きの時が来たからです。天と地と海と泉を造った方を崇拜しなさい」; 22:17 聖なる力(神がご自分の望むことを成し遂げるために送り出す、目に見えない力。一般的に「聖霊」と呼ばれることが多い。聖なる力といえるのは、最高度に清く正しい方であるエホバを源とする力であり、エホバが聖なる事柄を成し遂げるために用いるからである)によって花嫁は、「来なさい!」と言い続ける。それを聞く人も、「来なさい!」と言いなさい。喉が渇いている人は来なさい。命の水が欲しい人は、無償で飲みなさい) もし、あなたが大群衆の1人であるなら、この素晴らしい希望を大切にしていることでしょう。

3. サタンの狙いは何ですか。

3 悪魔サタンは私たちから希望を奪おうとしています。サタンの狙いは、私たちに「エホバは自分のことを気に掛けてくれていない。約束も守らない」と信じ込ませることです。もし、サタンに希望を奪われてしまうなら、私たちは勇気を失い、エホバに仕えることもやめてしまうかもしれません。これから考える通り、サタンはまさにこの手を使ってヨブを攻撃しました。

4. この記事ではどんなことを考えますか。 (ヨブ 1:9-12)

4 この記事では次の点を考えます。①サタンは、ヨブに忠誠心を捨てさせるためにどんなことを行いましたか。(ヨブ 1:9-12) サタンはエホバに答えた。「ヨブは本当に純粋な気持ちで神を畏れているのでしょうか。10 彼も家族も全ての持ち物も、あなたが柵で囲んで守ったものではありませんか。あなたの祝福によって彼の仕事はうまく運び、家畜は非常に多くなりました。11 試しに、あなたの手を出して、彼の持つもの全てを破壊してください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」。12 エホバはサタンに言った。「いいだろう、彼の持

つもの全てをあなたの手に委ねよう。ただし、彼自身に手を出してはならない！」そこで、サタンはエホバの前から出ていったを読む。) ②ヨブの手本からどんなことを学べますか。③エホバが私たちを愛し、約束を必ず守る方である、ということを忘れてはいけないのはなぜでしょうか。

サタンはヨブの希望を奪おうとした

5-6. 短期間に、ヨブにどんなことが起きましたか。

5 ヨブは、とても順調な人生を送っていました。エホバとの良い関係を持っていました。たくさん家族と仲良く暮らしていました。そして、とても裕福でした。(ヨブ 1:1-5 ウツの地方にヨブ(if* 敵意的)という男性がいた。神に忠誠を尽くす(*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れていた。2 ヨブには7人の息子と3人の娘がいた。3 所有していた家畜は、羊 7000 匹、ラクダ 3000 頭、牛 1000 頭(d*500 対)、ロバ(d*雌ロバ)500 頭で、召し使いも非常に大勢いた。ヨブは東方で最も裕福な人だった。4 ヨブの息子たちは、日を決めて順番に自分の家で宴会を開き、3人の姉妹も招いて一緒に食べたり飲んだりした。5 一連の宴会が終わるたびに、ヨブは子供たちを呼び寄せ、神聖なもの(*神から見て清い者)とした。朝早く起きて、一人一人のために全焼の犠牲を捧げた。「子供たちが罪を犯し、心の中で神を侮辱したかもしれない」と考えてのことだった。ヨブはいつもそのようにしていた)でもヨブは、たった1日のうちに、ほとんど全てを失いました。まず、財産を失いました。(ヨブ 1:13-17 さて、ヨブの息子や娘が長男の家で食事をし、ぶどう酒を飲んでいた日のこと、14 ある人がヨブの所に来て報告した。「牛が耕し、ロバが近くで草を食べていると、15 シバ人が襲ってきました。家畜は奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。16 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「神の火(if*稲妻)が天から下り、羊と召し使いたちを焼き尽くしました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。17 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「カルデア人の3つの集団が襲ってきて、ラクダが奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」)そして、愛する子供たち全員が死んでしまいました。これがどれほどつらい出来事だったか、考えてみてください。親は子供を1人亡くしただけでも、本当に深い悲しみを味わいます。ですから、ヨブと妻は、10人の子供全員が死んでしまったと聞いた時、本当に大きな衝撃を受けたに違いありません。ヨブが衣服を引き裂き、地面に崩れ落ちたのも、無理もないことでした。(ヨブ 1:18-20 この人が話しているうちに、さらに別の人が来て言った。「息子さんや娘さんは、ご長男の家で食事やぶどう酒を召し上がっていました。19 すると突然、荒野の方から激しい風が家の四隅に吹き付け、家が倒れ、お子さんたちは下敷きになって亡くなりました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。20 ヨブは立ち上がって衣服を引き裂き、髪を切り落とし、ひれ伏して、)

6 サタンは次に、ヨブの健康を損ない、尊厳を奪いました。(ヨブ 2:6-8 エホバはサタンに言った。「いいだろう、あなたの手に委ねよう。ただし、命を奪ってはならない！」7 そこで、サタンはエホバの前から出ていき、ヨブの体に、頭のてっぺんから足の裏まで、痛みの伴う腫れ物(*ひどい潰瘍)を生じさせた。8 ヨブは土器のかげらを手に取って体をかき、灰の中に座っていた。; 7:5 私の肉体はうじと土くれに覆われた。皮膚はかさぶたとみだらけだ)以前のヨブは、人々から大いに敬われ、助言を求められることもありました。(ヨブ 31:18 (私は若い時から、父親のようにその孤児の成長を見守り、子供の頃から、そのやもめの手を引いてきた。))でも、今では誰もヨブを相手にしません。兄弟や友人たちからも避けられ、召し使いさえ言うことを聞こうとしません。(ヨブ 19:13, 14 神は私の兄弟たちを私から遠ざけた。私を知っている人たちは

私から離れ去った。14 親しい友人(*私の親族)はいなくなり、私がよく知っている人たちは私を忘れた、16 私は召し使いを呼ぶが、返事がない。私はこの口で同情を乞う)



現代の多くのエホバの証人も、ヨブと同じようなつらい状況を経験してきた。(7節を参照。)

*写真や挿絵: ヨブと妻は、子供たちを一度に亡くすという悲惨な経験をした

II. サタンはどんな手を使ってヨブの希望を奪おうとしましたか。

7. (ア) ヨブは自分が苦しんでいる理由について①どう考えましたか。でも、②どんなことはしませんでしたか。(イ) クリスマスは、挿絵の状況に似たどんな試練を経験するかもしれませんか。

7 サタンはヨブに、「自分が苦しんでいるのはエホバの恵みを失ったからだ」と信じ込ませようとしていました。例えば、強い風を送り込んで、ヨブの10人の子供たちが食事を楽しんでいた家を倒しました。(ヨブ 1:18, 19 この人が話しているうちに、さらに別の人が来て言った。「息子さんや娘さんは、ご長男の家で食事やぶどう酒を召し上がっていました。19 すると突然、荒野の方から激しい風が家の四隅に吹き付け、家が倒れ、お子さんたちは下敷きになって亡くなりました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」) また、天から火を降らせて、羊や羊の世話をしていた召し使いたちを焼き尽くしました。(ヨブ 1:16 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「神の火(*稲妻)が天から下り、羊と召し使いたちを焼き尽くしました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。) 風や火が天から下ってきたので、ヨブは、①「これはエホバからのものに違いない。自分はエホバを怒らせてしまった」と考えました。それでも、②エホバを侮辱することはしませんでした。ヨブは、長年にわたって自分がエホバから良いものをたくさん受けてきたことを理解していました。それで、エホバから良いものを受けたのであれば、悪いことも喜んで受けるべきだと考え、「エホバの名が引き続き賛美されますように」と言いました。(ヨブ 1:20, 21 ヨブは立ち上がって衣服を引き裂き、髪を切り落とし、ひれ伏して、21 言った。「母から生まれた時は裸だった。だから裸で戻ろう。エホバが与え、エホバが取り去った。エホバの名が引き続き賛美されますように」; 2:10 しかし、ヨブは妻に言った。「まるで愚かな女性が話しているみたいだ。私たちは真の神から良いことだけを受けて、悪いことは受けないのだろうか」。この一連の出来事の中で、ヨブは言葉(d*唇)で罪を犯すことがなかった) ヨブは、経済的にも精神的にも身体的にも大きなダメージを受けていましたが、エホバへの忠実を保ちました。それでもサタンは、ヨブに対する攻撃をやめませんでした。

8. サタンは次にどんなことを行いましたか。

8 サタンは別の方法でヨブを攻撃しました。3人の偽の友を使って、ヨブの自尊心を奪おうとしました。3人は、ヨブが苦しんでいるのは何か悪いことをしたからだ、と主張しました。(ヨブ 22:5-9 あなたの悪があまりにひどく、あなたの過ちに際限がないからではないのか。6 あなたは不当にも自分の兄弟たちから担保の品を取り上げる。人の衣服を剥ぎ取って裸にする(d*裸の人の衣服を剥ぎ取る)。7 疲れた人に水を飲ませることも、飢えた人に食物を与えることもしない。8 土地は有力者のもので、優遇されている人がそこに住む。9 あなたはやもめを何も持たせずに去らせ、父親のいない子供(*孤児)を絶望させた)そして、ヨブが悪いことを行っていないとしても、エホバに喜んでもらおうとする努力は無駄だ、と思わせようとしてしました。(ヨブ 4:18 何と、神はご自分に仕える人のことを信じていない。ご自分の天使(*使者)をとがめる: 22:2, 3 人は神の役に立てるだろうか。洞察力がある人は神の力になれるだろうか。3 全能者はあなたが正しい人であることを気に掛ける(*喜ぶ)だろうか。あなたが忠誠を尽くしたとして、神に何の得があるだろう: 25:4 死にゆく人間がどうして神の前で正しいとされるだろうか。女性から生まれた人がどうして無実(*清い)とされるだろうか)「エホバは自分のことを愛してくれていないし、気に掛けてもくれていない。エホバに仕えても無駄だ」と思わせようとしていたのです。3人のこうした言葉を聞いたヨブは、自分には希望はない、と考えたかもしれません。

9. ヨブが勇気や強さを示せたのはなぜですか。

9 この時の情景を想像してみましょう。ヨブは灰の中に座り、絶え間ない痛みを耐えています。(ヨブ 2:8 ヨブは土器のかけらを手に取って体をかき、灰の中に座っていた)3人の偽の友は、ヨブの人格を容赦なく攻撃し、自尊心を奪おうとしています。子供たちを亡くして心が引き裂かれそうになっていたヨブに、こうしたつらい経験が岩のようにのしかかってきたのです。初め、ヨブは黙っていました。(ヨブ 2:13-3:1 7日間ずっと(d*7日7夜)、ヨブと一緒に地面に座っていた。ヨブの痛みが大変ひどいを見て、誰も話し掛けなかった。3その後、ヨブは話し始め、自分が誕生した日(d*自分の日)のことを悪く言った)3人の友はそれを見て、ヨブがエホバを退けようとしている、と考えたかもしれません。でも、それは全く間違っていました。やがてヨブは、おそらく頭を上げ、3人の友を真っすぐに見てこう言いました。「私は死ぬまで忠誠を貫く！」(ヨブ 27:5 あなた方を正しいと認めるなど私には考えられない! 私は死ぬまで忠誠を貫く(*忠誠心を捨てない)!)ヨブがさまざまな苦しみを経験しながらも、これほどの勇気や強さを示せたのは、どうしてでしょうか。ヨブは、人生で最悪の時にも、エホバがやがてこの苦しみを終わらせてくださる、という希望を捨てませんでした。そして、たとえ死ぬことになったとしても、エホバが生き返らせてくださる、ということを理解していました。(ヨブ 14:13-15 私を墓(へ語シェオル)に隠してください! あなたの怒りが過ぎ去るまで私を隠し、私のために期限を定め、時が来たら私を思い出してください。14 人は死ぬと、もう一度生きられるでしょうか。私は捕らわれている間(死んでいる間)、解放の時が来るまでずっと待ちます。15 あなたは呼んでくださり、私はあなたに答えます。あなたはご自分の手で造った人に再び会いたいと願ひ(*人のことを慕い)ます)

ヨブの手本に倣うには

10. ヨブの記述からどんなことを学べますか。

10 ヨブの記述からどんなことを学べるでしょうか。①サタンが私たちに無理やりエホバを捨てさせることはできないということや、②エホバが私たちの状況を全て理解してくださっているとい

うことです。また、③関係する問題について理解を深めることもできます。では、ヨブの手本から学べる点を幾つか考えていきましょう。

Ⅲ. どのようにヨブに倣えますか。

11. エホバへの信頼を保つなら、どんな良い結果になりますか。 ([ヤコブ 4:7](#))

11 ヨブの例から分かる通り、エホバへの信頼を保つなら、どんな試練も忍耐でき、サタンに立ち向かうことができます。そして、どんな結果になるのでしょうか。聖書によると、サタンは私たちから逃げ去ります。 ([ヤコブ 4:7](#) ですから、神に従ってください。悪魔に立ち向かってください。そうすれば、悪魔は逃げ去りますを読む。)

12. ヨブは復活の希望からどのように力を得ましたか。

12 私たちは、復活の希望に強い信仰を持つ必要があります。前の記事で考えた通り、サタンはしばしば死に対する恐れを使って、私たちに忠誠心を捨てさせようとします。サタンはヨブに関して、命を守るためならエホバに仕えることさえやめる、と言いました。でも、それは間違っていました。ヨブは、死を避けられないような非常に難しい状況に直面していましたが、妥協することはありませんでした。エホバが善い方であることを確信し、エホバがいずれ物事を正してくださるという強い希望を持っていたので、頑張ることができました。また、自分が生きている間に物事が正されないとしても、エホバが将来自分を復活させてくださる、ということに信仰を持っていました。ヨブは、復活の希望が実現することを固く信じていました。私たちも復活を固く信じているなら、死に直面してもエホバへの忠誠を保つことができます。

13. サタンがどんな手を使ってヨブを攻撃したかに注目する必要があるのはなぜですか。

13 私たちは、サタンがどんな手を使ってヨブを攻撃したかに注目する必要があります。なぜなら、①サタンは現代の私たちに対しても似たような方法を使ってくるからです。サタンは、「人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します」と主張しました。ここで「人」という言葉が使われていることから、②サタンがヨブだけでなく、全ての人のことを言っていたことが分かります。 ([ヨブ 2:4, 5](#) サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。5 試しに、あなたの手を出して、彼の体に傷を負わせて(d*骨と肉にまで触れて)ください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」) サタンはいわばこう言っていました。「エホバを本当に愛している人などいない。誰でも自分の命を守るためならエホバを捨てる。エホバは人間のことを愛してなどいない。人間がエホバに喜んでもらおうとしても、エホバはそんなことを気に留めていない」。でも、私たちは前もって教えられており、希望を抱いてエホバを待っているのです、サタンにだまされることはありません。

14. 試練によって、どんなことが明らかになりますか。どんな例がありますか。

14 私たちは試練を、自分をもっとよく知る機会と見る必要があります。ヨブの場合、試練は、自分の弱さに気づき、それを直す助けとなりました。例えば、ヨブはいっそう謙遜になる必要があ

るということに気付きました。（ヨブ 42:3 あなたはこうおっしゃいました。『知らないのに、私の考えを覆い隠しているのは誰か』。私は話しましたが、分かっていませんでした。あまりにも素晴らしい事実を理解していませんでした）私たちも、試練に遭う時、自分のことをもっとよく知ることができます。ニコライ兄弟は、健康状態が非常に悪かったにもかかわらず、留置施設に入れられました。*一部の名前は変えてあります。こう言っています。「勾留中の生活はレントゲン検査のようで、その人がクリスチャンとしての良い性質を持っているかどうかを明らかにします」。ですから、自分の弱いところに気付いたなら、それを直すために努力することができます。

15. 私たちは誰の声に耳を傾ける必要がありますか。なぜですか。

15 私たちは、敵の声ではなくエホバの声に耳を傾ける必要があります。ヨブは、エホバから語り掛けられた時、注意を払ってよく聞きました。エホバはヨブに対していわばこう言っていました。「あなたは、私の創造する力を理解しているか。私は、あなたにどんなことが起きているかを全て知っている。あなたは、私があなたを気遣っていないとも思っているのか」。それに対してヨブは、エホバが善い方であることを認めて、謙遜にこう言いました。「あなたのことを耳で聞いてはいましたが、今ではあなたをこの目で見ております」。（←ヨブ 42:5）この時ヨブは、恐らく灰の中に座ったままで、体は腫れ物で覆われており、子供たちの死を悲しんでいました。それでもエホバは、ご自分がヨブを愛し、良いと認めていることをはっきりと示しました。（ヨブ 42:7, 8 エホバはヨブに話し終えた。エホバはテマン人エリパズにこう言った。「私の怒りは、あなたとあなたの2人の友人に対して燃えている。あなたたちは、私に仕えるヨブとは異なり、私について真実を語らなかった。8 さあ、雄牛7頭と雄羊7匹を連れて、私に仕えるヨブの所に行き、自分たちのために全焼の犠牲を捧げなさい。私に仕えるヨブがあなたたちのために祈る。愚かなことをしたあなたたちを処罰しないでほしいと。私はその願いを必ず聞き入れる。あなたたちは、私に仕えるヨブとは異なり、私について真実を語らなかった）

16. イザヤ 49 章 15, 16 節によると、試練に遭う時、どんなことを覚えておく必要がありますか。

16 現代の私たちも、侮辱されたり、だめな人間だと見られたりすることがあります。私たち個人や組織の評判を傷つけようとする人から、「悪意のあるうそをいろいろ言われる」かもしれません。（マタ 5:11 私のために非難(*侮辱)され、迫害され、悪意のあるうそをいろいろ言われるとき、あなたたちは幸福です）でも、ヨブの記述から分かる通り、エホバは、私たちが試練にぶつかるとしてもご自分への忠実を保つことができる、と確信しています。エホバは、希望を抱いてご自分を待つ人たちを愛していて、見捨てることは決してありません。（イザヤ 49:15, 16 女性が自分の乳を飲ませている子を忘れたり、自分が産んだ子を思いやらなかったりするだろうか。たとえ女性たちが忘れたとしても、私があなたを忘れることは決してない。16 私は手のひらにあなたを刻んだ。あなたの城壁は常に私の前にあるを読む。）ですから、神の敵の中傷に耳を傾けてはいけません。トルコに住むジェームズ兄弟の家族は、厳しい試練を経験してきました。兄弟はこう述べています。「私たちは、エホバの証人についてのうそに耳を傾けるなら、ひどくがっかりする、ということに気付きました。それで、王国の希望に思いを向け、エホバへの奉仕を熱心に行い続けました。そうすると、喜びを保つことができました」。ヨブのように、私たちもエホバの声に耳を傾けましょう。そうするなら、敵のうそによって希望を奪われてしまうことはありません。

希望は私たちの支えとなる



ヨブの忠誠は報われた。ヨブと妻はエホバに祝福され、長い人生を楽しんだ。（17節を参照。）

***写真や挿絵:** ヨブは試練を最後まで忍耐した。ヨブと妻が、自分たちと家族にエホバが与えてくださった祝福について考えている

17. [ヘブライ 11 章](#)に出てくる忠実な人たちの手本から、どんなことを学べますか。

17 厳しい試練に遭っても勇気と強さを保ってエホバに仕えた人は、ヨブのほかにもたくさんいます。パウロはヘブライ人のクリスチャンへの手紙の中で、そうした人たちについて、「**大勢の証人たち**」と書きました。（[ヘブ 12:1](#) それで、これほど大勢の(*大きな雲のような)証人たちに囲まれているのですから、私たちもあらゆる重荷と、すぐに絡み付く罪を捨て、参加している競走を忍耐して走りましょう）それらの人たちは皆、**厳しい試練**を経験しましたが、**死に至るまでエホバへの忠実を保ちました。**（[ヘブ 11:36-40](#) さらにほかの人たちは、あざけられたり、むち打たれたりしただけでなく、鎖につながれたり、投獄されたりすることによっても試練を受けました。37 彼らは石打ちにされ、試され、のこぎりで切り裂かれ、剣で切り殺され、身に着ける物は羊やヤギの皮で、困窮し、苦難を味わい、虐待されました。38 世は彼らにふさわしくなかったのです。彼らは砂漠や山々、また洞窟や地下の穴をさまよいました。39 しかし、これらの人は皆、信仰のゆえに高く評価されながらも、約束されたものを受けませんでした。40 神は、さらに勝ったものを私たちに与えることにしていたので、私たちなしでは彼らが完全にされることがないようにしたのです）**彼らの努力や忍耐は無駄だった**でしょうか。決してそんなことは**ありません**。確かに、彼らは**生きている間にエホバの約束全てが実現するのを見たわけでは**ありません。それでも、**希望を抱いてエホバを待ち続け**ました。また、彼らは**エホバから良いと認められていることを確信**していたので、**いずれエホバの約束の実現を見ることができると信じて**いました。（[ヘブ 11:4, 5](#) 信仰によってアベルは、カインの犠牲よりも価値のある犠牲を神に捧げ、その信仰のゆえに正しい人と評価されました。神はアベルの供え物を良いと認めたのです。アベルは死にましたが、今も信仰によって語っているといえます。5 信仰によってエノクは、死を見ないように移されました。神によって移されたので、どこにも姿が見えなくなりました。移される前に、神に喜ばれて高く評価されたのです）こうした人たちの**手本について考えると、希望を抱いてエホバを待ち続けようという気持ちが強くなります。**

18. エホバのためにどんなことを行っていきたいと思いますか。（[ヘブライ 11:6](#)）

18 **現代の世界はますます悪くなっています。**（[テモニ 3:13](#) 邪悪な人々や詐欺師たちは、惑わしたり惑わされたりしながら、ますます悪くなっていきます）また、**サタンはエホバに仕える人たちに**対する**攻撃を**

やめていません。それで、将来どんな試練にぶつかるとしても、一生懸命エホバに仕えていきましょう。私たちは、「**生きている神に希望を抱いている**」からです。（[テモ一 4:10](#) だからこそ私たちは力を尽くし、努力しています。生きている神に希望を抱いているからです。神は、あらゆる人、特に**忠実な人たちの救い主**です）**ヨブがエホバのおかげで迎えた結末**から分かる通り、「**エホバは優しい愛情にあふれ、憐れみ深い方**」です。（[ヤコ 5:11](#) 私たちは、**忍耐した人は幸せである(*祝福されている)**と考えます。皆さんはヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホバ(*)のおかげでどんな結末を迎えたかを知っています。エホバ(*)は**優しい愛情(*思いやり)にあふれ、憐れみ深い方**なのです）**私たちも、エホバへの忠実を保ち**ましょう。エホバは、ご自分に「**熱心に仕えようと努める人たち**」に**必ず報いを与えて**くださるのです。（[ヘブライ 11:6](#) 信仰がなければ、神に喜ばれることはありません。神に近づく人は、神が存在し、**熱心に仕えようと努める人たちに報いてくださる**、ということを信じなければなりませんを読む。）

どのように答えますか

- I. 「希望を抱いてエホバを待[つ]」とはどういうことですか。
- II. サタンはどんな手を使ってヨブの希望を奪おうとしましたか。
- III. どのようにヨブに倣えますか。

[150 番の歌](#) 救いのために神に頼る

[^ \(詩 27:14\)](#) 希望を抱いてエホバを待て。勇気を出し、心を強くせよ。そうだ、希望を抱いてエホバを待て。

[^ \(啓 21:3, 4\)](#) その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」。

[^ \(詩 37:9-11\)](#) 悪を行う人は取り除かれるが、希望を抱いてエホバを待つ人は地上に住み続ける*。10 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない。11 しかし、温厚な人は地上に住み続け*、豊かな平和をこの上なく喜ぶ。